

新型インフルエンザに対する 水道水の安全性について

厚生労働省や世界保健機関(WHO)によれば、インフルエンザウイルスは、塩素消毒によって死滅または感染性を失うとされています。

水道水は塩素消毒されているため、水道水による感染はなく安全です。

塩素消毒とは？

水道で消毒に使用している塩素は、強い酸化力を持っています。塩素の酸化力により病原微生物は
殺菌されます。

日本では、蛇口から出る水道水の中に0.1mg/l以上の塩素が残留していることが義務づけられています。水道水中に塩素が残留していることは、消毒が適切であることの証です。

山形県企業局は、

塩素消毒を徹底しています。